

第 4 期 第 8 回 中 原 区 区 民 会 議

日時 平成26年3月19日（水）14：00～

場所 中原区役所 5 階 502・503会議室

午後 2 時 開 会

## 1 開会

司会 改めて、皆さん、こんにちは。定刻になりましたので、ただいまから第 4 期第 8 回中原区区民会議を開催いたします。

私は、本日の会議の議事に入る前までの間、進行を務めさせていただきます副区長の小野でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は過半数の委員に御出席をいただいておりますので、川崎市区民会議条例第 6 条第 2 項の規定により、本会議が成立しておりますことを御報告申し上げます。本日の会議は、会議公開条例に基づき公開で行われます。会議録を作成し、公開いたしますので、御了承いただきたいと思います。

今回、区民会議の皆様方にジャンパーを着ていただいておりますが、昨日、実施いたしました子育てふれあいカフェでも委員の皆様方に着用をいただいております。今後、活動の際には着用をいただき、区民会議を広く PR してまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、伊藤委員、反町委員、中森委員につきましては、所用により欠席との御連絡をいただいているところでございます。なお、尾木委員につきましては、1 時間程度おくれるという御連絡をいただいております。続きまして、参与についてでございますが、滝田参与、川島参与につきましては所用により欠席との御連絡をいただいております。

それでは、中原区長の板橋より御挨拶を申し上げます。

区長 皆さん、こんにちは。区長の板橋でございます。昨日の子育てふれあいカフェは場所が当初、外だったものが中になったんですけれども、ちょうど風も強かったものですから、かえってよかったのかなと思っています。皆様の御協力のもとに、予想以上の親子連れがいらして、まさに皆さん方のお力添えのたまものだということで、改めて感謝を申し上げたいと思っています。

本日は、第 4 期区民会議の最後ということでございますので、以前から御要請がありましたジャンパーにつきましても、先ほど副区長から話がありましたように、何とか最後になって間に合うようにさせていただいたところでございますけれども、引き続き、区民会議の周知も含めて頑張りたいと思っています。

さて、行政のほうの状況を少しお話しさせていただきたいと思うんですが、きょうも参与の方がいらっしゃるけれども、3 月の予算議会が無事通りまして、ことしの 4 月からの仕事については全て予算の裏づけの中で構えていかなければならないということで、当然今年度中の仕事はあと一、二週間残っていますけれども、今、その分の仕上げと、それから来年度に向けてどう対応していくかということについての体制づくりにも入っているところですが、何分にも役所の場合、人事異動というのが 4 月につきものなので、どう

なるかわかりませんが、いずれにしても、来年度、気を引き締めて頑張っていきたいと考えています。

課題としては幾つかあるんですが、きょうも地価の公示価格が出まして、新聞等で見ると、小杉の開発に伴いまして、地価の上昇率が全国でもトップというような話になっております。そういう意味では、非常に注目されているまちであるということを改めて認識するとともに、そういったことが市民生活にどのような影響を与えていくのかということも並行して考えていかなければならないんだらうと思っています。

それから、小杉の開発につきましてはいろいろな場面でお話をさせていただいておりますけれども、ことし大きなショッピングセンターが2つできるということで、また大きくまちが変わるという正念場の年でもございますので、そういったことに向けても、区役所としても十分な体制をとっていきたいと考えているところでございます。

一方、そうはいつでも、やはり開発だけに目を向けるのではなくて、実際、大きな流れとしては少子高齢化ということがありますので、中原の一部の地区については高齢化率が非常に高くなっているところもございますので、そういった通常の——通常という言い方はよくないかもしれませんが、今の社会に合った行政の対応をしなければならないということも含めまして、福祉事務所を中心としていろんなところも対応させていただいているところでございます。

きょうは最後ということで、いろんな報告のまとめが出るということなので、今後、それにつきましては、年度が明けてからまた私のほうに提案をいただくという形になると思いますけれども、引き続き皆さん方の御議論は私どももしっかり受けとめさせていただきまして、区民会議での提案について着実に前進させていただきたいと思っていますので、よろしく御審議のほどお願いいたします。ありがとうございました。

司会 それでは続きまして、事務局より本日の資料の確認をさせていただきます。

事務局、よろしくお願ひいたします。

事務局 それでは、本日のお手元の資料の確認をさせていただきたいと思ひます。

クリップどめになっておりまして、よろしければ、クリップを外して御確認いただければと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

まず1枚目、本日の会議の次第でございます。続きまして、別添1、本日の席次表になっております。続きまして、別添2、本会議の委員名簿になっております。

ここからが資料になっておりまして、まず資料の1、第4期中原区区民会議報告書目次(案)でございます。

続きまして、資料2は、A3、1枚の資料でございます、第4期中原区区民会議「市民報告会」実施概要(案)でございます。

続きまして、資料3は、先日、1月に行われました区民会議交流会の報告書の抜粋版でございます。A4で、かなりのページにわたっておりますけれども、左上にホッチキスで

とめている資料でございます。

続きまして、資料4につきましては、稲富委員より御提供いただきました資料でございます。こちらはA3 1枚のものでございます。

ここからは参考資料ということになりまして、幾つかカラーのチラシもございます。

まず、番号は振ってございませんが、参考資料1、3月29日に行われます第3回ふるさと交流フェスティバルのチラシでございます。

続きまして、参考資料2は、中原区のメールマガジン「なかはらインフォメーション」のチラシでございます。

続きまして、参考資料3は、「ロージーちゃんの防災エコグッズ」という冊子でございます。なお、こちらのロージーちゃんの防災エコグッズにつきましては、部数の関係で、委員の皆様、参与の皆様を提供させていただいております。恐れ入りますが、傍聴の方には御提供しておりませんので、御了承いただきたいと思います。

続きまして、参考資料4は、子ども環境授業実施結果報告書概要版でございます。

最後に、参考資料5は、「Home Team～なかはらのスポーツ」という冊子でございます。

資料につきましては以上でございます。何か不足等はございますでしょうか。——ありがとうございます。

司会 ただいま資料について確認をさせていただきましたが、よろしいでしょうか。

それでは、ここからの進行は委員長にお任せしたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

川連委員長 皆さん、こんにちは。お忙しいところどうもありがとうございます。これからの議事は私が進行させていただきますけれども、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

昨日、この場所で、区民会議が提案した事業なんですけれども、子育てふれあいカフェが行われました。大勢のお母さん、子どもたちが集まってくれて、本当にこんなにいっぱいというぐらい大成功に終わりました。きのうお手伝いに来ていただいた委員の方々、本当に御苦労さまでした。

## 2 会議録確認委員の選任

川連委員長 それでは、早速議事に入りますけれども、会議録確認委員の選任をいたします。前回、成田委員と橋本貞子委員をお願いいたしましたので、名簿の順で恐縮ですが、今回は、橋本満昭委員と藤嶋委員をお願いしたいと存じますが、よろしくお願いいたします。

### 3 議題

#### (1) 第7回運営部会報告

川連委員長 それでは、議題の審議を進めてまいります。

まず初めに、2月18日に開催した第7回運営部会の審議内容について、運営部会副部長である富岡副委員長に御報告をしていただきたいと思います。

それでは、富岡副委員長、よろしくお願いいたします。

富岡副委員長 富岡でございます。運営部会報告をさせていただきます。よろしくお願いいたしますを申し上げます。

2月18日に運営部会を開催しました。主に第4期中原区区民会議報告書と区民会議市民報告会について審議をいたしました。

まず、第4期中原区区民会議報告書については、第3期の報告書を参考にしながら審議いたしました。委員からは、第3期報告書のように、できるだけ写真などを入れて文字ばかりにならないようにしたいという意見がありました。写真を背景にして文字が書いてあるページは、読みにくくならないように工夫が必要であるといった意見がございました。

次に、区民会議市民報告会について審議をいたしました。後ほど事務局から説明がありますが、市民報告会は、第4期区民会議の取り組みを区民に報告するとともに、区民会議の活動を広く周知し、区民の理解をより一層深めるために開催するものです。開催日は、5月17日土曜日を予定しております。

どのような内容にするか、委員から以下のような意見が出されました。区内の学校にふだんの活動を披露する場として出演してもらいたい。吹奏楽であれば、法政二高、大西学園、橘高校などが盛んであるという意見がありました。そしてまた、吹奏楽は、全国大会の時期になると練習が優先となり、活動が難しくなる。上級生が抜けて発表を辞退するケースもあり、時期を確認する必要があるという意見がございました。そして、土曜日に開催するので、学生が来てくれれば、その親も参加してくれる可能性が出るということがあります。そして、前回の報告会のダンスパフォーマンスのように斬新な演目があるといいですねということがありました。基調講演をするなら、余り難しい話でないほうがよいですねという意見もありました。観光を題材に、区内にもこういういいところがあるといった話をみんなでするのはどうですかという話がありました。子育てサロンの資料や地域の魅力を発見するための資料など、区民会議としての情報発信をするために展示を充実させたいという意見がありました。

以上のような意見が出されるとともに、委員から、市民報告会については広く委員の希望を聞いたほうがよいのではないかという意見が出されまして、それを受けまして、報告会の概要案を作成して委員に送付いたしまして意見を募るとともに、3月11日に意見交換の機会を設け、4名の委員に御出席いただきました。皆様からいただいた御意見を参考に

本日の資料を作成したところでございます。

以上です。よろしくお願いを申し上げます。

川連委員長 ありがとうございます。ただいま運営部会の御報告をいただきましたが、何か御質問があれば、どうぞ御遠慮なくお願いいたします。——よろしいでしょうか。

## (2) 第4期中原区区民会議報告書について

川連委員長 それでは、事務局、よろしくお願いをいたします。

事務局 それでは、区民会議報告書について事務局のほうから説明をさせていただきます。

お手元の資料1、第4期中原区区民会議報告書目次(案)をごらんいただきたいと思っております。

今回の4期の報告書でございますが、基本的には第3期の報告書と同じような形で構成をしていきたいと考えてございます。

まず、第4期区民会議委員長の挨拶がございまして、第1章で、第4期中原区区民会議についてということで、「区民会議とは」「区民会議の審議の流れ」「専門部会について」、この辺を説明するような内容にしたいと思っております。

第2章につきましても、検討テーマ(地域課題)についてということで、検討テーマをどのような形で選定していったのか、その流れについて説明をする。また、各委員の意見と検討テーマの内容について説明をしていきたいと考えているところでございます。

第3章でございますが、それぞれの3つのテーマについて、「審議内容」「現状の取組」「課題解決に向けた取組事項」について記載をしていきたいと考えております。

第4章でございますが、第4期区民会議の課題解決に向けた取り組みをそれぞれ記載していくという形でございます。

先ほど運営部会の報告にもございましたが、内容は、文字が多過ぎるとやはり読みづらいということもございまして、写真を多めに取り入れて構成していきたいと考えているところでございます。それともう1点ございまして、第3期の報告書では、委員長の挨拶の部分ですが、若干後ろの写真とかぶりまして文字が見えにくいという御指摘もございましたので、今回はこの辺を検討して、もう少し見やすいような形で構成していきたいと考えているところでございます。いずれにいたしましても、報告書の区長提出につきましては4月11日金曜日を予定しておりますので、よろしくお願いをいたします。

説明は以上でございます。

川連委員長 ありがとうございます。今の説明について何か御意見、御質問があればどうぞお願いいたします。——よろしいでしょうか。

## (3) 区民会議「市民報告会」について

川連委員長 それでは、次の議題に移ります。

第4期中原区区民会議「市民報告会」について、事務局より説明をお願いいたします。  
事務局 それでは資料2、第4期中原区区民会議「市民報告会」実施概要（案）について御説明をさせていただきます。

先ほど富岡副委員長からも御案内がございましたとおり、こちらにつきましては、第4期中原区区民会議において議論されました地域課題、あと課題解決に向けた取り組みについて区民に報告をするとともに、次期、第5期に向けて区民会議の活動を広く周知し、区民会議に対する区民の理解をより一層深めるということを目的に実施するものでございます。

主催については、中原区区民会議としてございまして、日程につきましては、5月17日土曜日の午後1時から大体4時ぐらいまでというところを目安としております。場所につきましては、中原市民館の多目的ホール及び幾つか会議室、視聴覚室といったところを想定しております。

なお、会場のフロア図を資料の右側につけておりまして、四角で囲っている部分が今回の報告会で実施する場所でございます。下の大きい四角の中で、主に多目的ホールのところが会場の中心になろうかと思いますが、そのほか、右手のほうに、第3会議室、第4会議室、また第5会議室、第6会議室とございまして、視聴覚室も含めてとっております。さらに、上の小さい四角ですが、こちらは児童室でございますけれども、保育が必要な方がいらっしゃった場合のスペースとしてとっております。白黒で、多少見にくくて申しわけないんですが、会場の写真を下のほうにつけておりますので、御参考にさせていただければと思います。

実施内容についてですが、今現在、案として、左の丸でお示ししているところでございます。

まず、区民会議報告につきましては、今期、第4期区民会議の報告ということになりまして、大体30分程度を想定しておりますが、これは内容によって、時間については長くなる、短くなるといったところはあるかと思っております。まずは、全体報告を川連委員長にお願いしたいと考えております。こちらにつきましては、先日行われました区民会議交流会の資料を中心に使って御説明をいただくということを想定しております。さらに、今期の3つのテーマ、審議テーマごとに委員からそれぞれの取り組みについて御報告いただくということを想定しております。この内容につきましては、先ほど御審議いただきました第4期中原区区民会議報告書の内容を中心に御報告いただくことになろうかと思っております。またさらに、発表いただく委員のふだんの活動につきましてもこちらの場を活用してPRしていただければと思っております。「防災について」「子育てについて」「中原区の魅力について」という3つのテーマにつきまして、それぞれ資料につきましては、スクリーンで映しながら、内容を見ていただきながら発表していただければと考えております。

これから以下の部分につきましては、運営部会、また3月11日に行いました意見交換会、あるいはメール、ファクス等で皆様からお寄せいただいた御希望、御意見をもとに案としてつくらせていただいているものでございます。

まず、「写真で見る中原昔話」でございます。こちらにつきましては、中原区区制40周年記念で写真集を編集しております、その写真集に掲載している写真をもとに、この写真集を編集いただいた委員の方からお話をいただくという案でございます。その写真集の掲載写真につきましては、スクリーンで映しながら、中原区は5地区ございまして、その各地区について、地区ごとにそれぞれの昔の様子などについてここで話しいただくということを想定しているものでございます。時間につきましては大体50分程度かなというところございまして、各地区の皆様にお話しいただいた後で、もしパネルディスカッション的な形でもできればなおいいのかなとも考えております。

続きまして、講演でございます。こちらにつきましては大体30分程度と見ておりますけれども、内容につきましては、先ほどの運営部会の報告でもありましたとおり、基調講演的な余り難しい話というよりは、地域に密着した活動について話しいただきたいということです。例えば、フロンターレなど書いてありますけれども、前回の報告会ではフロンターレの広報部長にお話しいただいておりますけれども、そういったところも念頭に置いたような形になっております。

続きまして、ワークショップ「中原区のおすすめスポット」ということです。こちらにつきましても大体50分程度と考えております。今回の第4期の3つ目のテーマ、魅力につきまして、ワークショップというお話もございましたので、そういったところを念頭に考えているものでございます。開催が5月17日土曜日ということで、委員のほうからも、できる限り小さいお子さんに来ていただいて、さらにその親御さんについても参加をしていただければということもございましたので、小中学生が来ていただければいいのかなというところでございます。例えば、1テーブルに4人程度座ってもらいまして、もし小中学生、子どもが少ないようであれば、必要に応じて委員にもここに加わっていただくということもあろうかと思っておりますけれども、それぞれ御自分の思う中原区内のお勧めスポットですとか、あるいは好きな場所といったところです。こういったものをテーマに、雑談のような形で、10分から15分ぐらい話をしていただく。自分の好きなところのPRというか、そういったものをしてもらって、特にファシリテーター、進行役はつけない形で進めていくということを想定しております。10分から15分ほど話しいただいた後、テーブルのメンバーを交代いたしまして、新たなメンバーで同じように10分、15分雑談するというようなことを2回ばかり繰り返して、最後に、それぞれ聞いた中で印象に残った場所、どこのスポットがよかったかということを書き添え等を書いていただいて、最後に、それを地図に落としていって、どこが人気があったか示していくというようなことを小中学生を中心に楽しくやればいいのかという案でございます。



演奏につきましても50分程度ということにしておりますけれども、先ほどもお話にありましたとおり、中原区内の高校の吹奏楽団に依頼をいたしまして、案としては、大西学園と橘高校、この2校の名前を載せさせていただいております。今までも中原区の市民報告会については演奏が必ずありましたので、またこういった機会を活用していただくということも載せております。

最後につきましては、パネル等の展示となります。会場のロビーですとか、あるいは第3会議室、第4会議室、この2つの会議室はそれぞれ壁で仕切られておりますけれども、ここの区役所の会場と同じようにパーティションを抜くことができますので、第3会議室と第4会議室は一体にすることができます。前回もそのような形で展示をされたかと思っておりますけれども、そういった形で展示をしていく。内容については、区民会議の取り組み、フォトコンテストの写真を紹介する、あるいは先ほどもお話にありましたとおり、40周年記念写真集の写真もここで展示していくというようなことを想定しているものでございます。

実施概要（案）については以上でございます。よろしくお願いたします。

川連委員長 ありがとうございます。ただいまの説明をお聞きになって、質問、御意見がありましたらお願いをいたします。——ないようですので、こちらから指名させていただきたいと思っております。

青木さん、この実施概要（案）をごらんになって、いかがでしょうか。

青木委員 市民報告会の実施概要をいろいろお話しいただきましたけれども、これは全部やるということになるのでしょうか。この中からやはりある程度絞らないと、ばらばらになってしまうのではないかと思うんです。

私は、今、地域に密着した活動ということで、フロンターレ、あそこの等々力競技場も結構いっぱい観戦で来ていますので、フロンターレの話なんかも話題性があっていいんじゃないかと思っております。

それから、小学生、中学生にも将来の区民会議のあり方等をいろいろ知っていただく意味では、ワークショップに小中学生が入っていただくということもいいことではないか。さらに、やはりこの報告会を盛り上げる意味では、区内高校の——全国大会があつて予定がつくかどうかわかりませんが、全国的なレベルの高い大西学園、法政二高なんかもいいんじゃないかと思っております。

以上でございます。

川連委員長 ありがとうございます。石井さん、いかがですか。

石井委員 吹奏楽の演奏をお願いするということになると思うんですけれども、大西学園にしる、橘高校にしる、吹奏楽の楽器を運ぶのに何かすごく金がかかるらしいんですね。そこら辺の手だてはできているのかどうか。やはりみんな向こうにおんぶにだっこというわけにいかないでしょうから、あるいは保険なんかも入っているのかどうか、そこら辺が

ちょっとわからないところなんです。

ただ、私たちはいつも大体中学生の演奏を聞いておまして、高校生の演奏となると相当高度な演奏になるので、例えば、市民館の多目的ホールではちょっと狭いんじゃないかなというような気がするんですね。高校生が相当大勢所属しておられるようなので、やはりどうせ出るのなら大勢出してあげたいという気持ちはあるので、そこら辺はどうなのかなという気がしました。

川連委員長 その人数によって、やはり中原市民館ですとちょっと無理な場合があるんですよ。ですから、それはそのときに人数の制限とかはつけられると思うので、あとは、楽器を運ぶのにお金がかかるという話は全然聞いておりませんでしたので、また事務局とお話をしたいと思います。

稲富さん、よろしくお願ひします。

稲富委員 報告会を盛り上げていく形で、いろんな提案を取り込んでいくというのはいいと思っけておまして、あとは報告会の順番と申しますか、人がうまく報告会に入ってくれるような、その流れのところをきちんと組んでいただければと思っけておます。

あと、ワークショップで小学生たちと話を申すというところは、もっと具体的に盛り上がるような形になればいいなと思っけておますけれども、これについてはちょっとまだイメージが持ち切れていない部分も申しますけれども、ただ、こういうことをやっけて、区民会議の報告だけではなくて、来た人と一緒に話を申していくという形をとれるのは非常にいいと思っけておました。

以上です。

川連委員長 ありがとうございます。先日、ちょっと話し合ひをしたんですけれども、余りにも委員の数が少なかったんで、これからきちんとした案が出てくると思っけておますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、梅原さん。

梅原委員 いろいろお話を聞けるということで、やっぱり集まった方はいろいろ期待があるんじゃないかなと思っけておますけれども、今話が出たように、ワークショップのところはイメージが湧かないんですね。どういう子どもたちを呼んだらいいのかということがありまして、例えば、もしやれということであれば、ボーイスカウトに集まれというような感じになると思っけておますし、小学校でやるんだったらやっぱり小学校の生徒を集めるとか、いろいろあると思っけておますね。ですから、その辺の何を話すかというイメージをきっちり決めたほうがいいんじゃないかなという感じがいたします。

川連委員長 ありがとうございます。岡本さん。

岡本委員 私は、区民会議報告のところなんですけれども、審議テーマとして、私たち委員が取り組んだ報告ということなんですけれども、これは私たちが取り組んで、そして地域におろしたときに、地域のところは申すところをどう申すかというふうにとり上げてくださって、そし

て地域でどういうふうに進んでいるかということ、この辺は地域の人にも一緒に発言していただければいいのかなと思ったんです。

それから、ワークショップのところなんですけれども、小中学生が中心と書いてありますけれども、小中学校の目線と、それからもう1つ、大人の目線で考えたスポットというところが少し一緒に入れば、相違がわかってまたおもしろいのではないかなとちょっと感じたんですけれども、あとは、皆さん、よろしくお願いします。

川連委員長 ありがとうございます。尾木さん、お願いします。

尾木委員 遅参いたしましたして、申しわけございませんでした。

ちょっとその前に、このジャンパーを着ろということで、これはLとか何とかサイズがあるんですか。区長は着ていないみたいだけれども、特別なものはあるんですか。皆同じものですか。

川連委員長 特別なものはないと思います。

尾木委員 そうですか。では、体をこれに合わせてくれということですね。わかりました。それは冗談です。

私も、梅原委員がおっしゃったように、ワークショップは、やり方によっては非常に素晴らしい結果が出るか、全く何もわからない、がやがやして終わってしまうか、これはかなり危険なかけだろうと思います。やってみる価値は私はあると思うんですけれども、おっしゃっているように、やっぱりテーマとか、どこの部分をどういうふうな切り口にするかということはある程度整理してやらないと、1つの地図に落とすなんていうことが書いてありますけれども、とても10分や15分でなかなかそこまでいかないのではないかという危惧があるんです。

ですから、例えば、ボーイスカウトのグループ、それから小学校のグループ、中学校のグループというように、見方が変わるようなグループを3組ぐらい出すというのならわかるんですけれども、ここにあるように、ただ15分程度で入れかえでやるという漠然としたものでは私なんかもちょっとイメージが湧かないんですね。ですから、その辺は今後詰めて、効率のある話し合いにしていけばいいことなんです、その辺はちょっと危惧をしているところです。

それから、演奏については全く人寄せで、高等学校の素晴らしい演奏を聞きたいという人も結構いますから、これは入れたほうが良いなと思っております。

それから、講演については、去年はフロンターレの方を呼んでやったというので、毎年同じフロンターレでは芸がないかなと思うので、もうちょっと広く講師の方を選択されるということも必要なかなと思っております。そんなところです。

川連委員長 ありがとうございます。ワークショップについては、また事務局とよく話し合いをしたいと思います。

但野さん。

但野委員 こんにちは。私も、皆さんがお話しされていたとおり、ワークショップは、子どもたちが実際に集まるかなというのが心配なところと、「写真で見る中原昔話」というところは、区制40周年ですごくすてきな写真の記念集ができたようなので、各5地区の皆さんにお話を伺えるというのは、新しくいらした方にも、住んでいらっしゃる方にも大変興味深い内容だなと思って見せていただきました。

あとは、吹奏楽のところ、まだこれは案なんだと思うんですが、50分程度というのがちょっと長いかなという気がいたします。定期演奏会だと長いんですが、それこそ先ほどお話に出ていましたとおり、5月の開催ということで、ちょうど入れかわりの時期で、1年生が新しく入って、曲数は多くはできないのかなと思いました。

以上です。

川連委員長 では、塚本さん、お願いします。

塚本委員 市民報告会の趣旨としては、区民会議がやっていることを報告するというのがメインの目的だと思うので、できたら、区民会議報告の30分のところに、「防災について」「子育てについて」「中原区の魅力について」を報告した後に、質疑応答が少し活発になるような、防災に関係する団体の方とか、子育てに関係する団体の方、中原区の魅力について、そういうことをやっている団体の方の代表を積極的にお呼びして、そういうことをやっているんだったらこういうのはどうか、一緒にできないかとか、なかなか集まっていられないかもしれないんですけども、区民会議がやっていることに対してのリアクションが少しでもとれるような工夫をもう少ししたほうがいいかなと思います。ただ、私は本番のときにちょっと出席できなさそうなので残念なんですけれども、準備については何でもやりますので、よろしく願いいたします。

川連委員長 ありがとうございます。寺岡さん、お願いします。

寺岡委員 今の写真とか、講演、ワークショップは大体もうお話に出ていたんですけども、写真のところで昔の話をしてもらおうというのは、これもちょっと工夫が必要ではないかなと思いますので、そういう点は検討したほうがいいのかと思います。

それから、パネル展示ですけれども、前のときには商業と工業の展示、それと一部、販売もさせてもらったんですけども、ああいうことも考えるとおもしろいかなと考えています。また、中原区の商品とか、それから工業製品、多くの方が住んでいらっしゃる、この企業は何をつくっているんだろうとか、商店の場合は出入りされるのでよくわかると思うんですけども、工業の場合に、できればそういう場も設けていただくと、前回、工場の方からのお話も非常によかったので、できればぜひこういう点も含めて御検討いただきたいと思います。

以上です。

川連委員長 前はたまたま40周年記念ということもあったものですから大々的にやりましたけれども、今回はちょっとそこまでは考えていないということなんです。

中山委員 この区民会議の報告を市民報告会ということで、5月17日にこの時間にやるということですね。

川連委員長 はい。

中山委員 それで今、場所を確保してあるのは、全部してあるんだろうと思いますが、会議室として使うのは第3と第4会議室ですね。あとは全部ステージでやるんですか。

川連委員長 はい。

中山委員 それとあと、ワークショップの来場者を目当てにしてやるのか、あるいは招集をかけて、小学生か中学生か、さっきありましたように、梅原さんのところのそういう方に招集をかけてやるわけですか。

川連委員長 そうです。

中山委員 わかりました。結構です。

川連委員長 では、成田さん。

成田委員 一通り皆さんのほうから御意見がありました。私も、やはりワークショップに関してはもう少し内容を膨らませて議論する必要があるなということで、どこまでの小中学生を対象にするかということと、あと年齢構成ですとか、所属の団体ですとか、住んでいる地域ですとか、いろいろ条件によって内容も変わってくると思いますし、もしこの部分を膨らませるとすると、やはり小中学校ですとか、それからいろんなクラブ等にも、市民報告会という形ではありますけれども、お知らせと、ぜひお越しく下さいといったようなチラシの配布等も行っていったほうがいいかなというのが1つあります。

もう1つは、パネルの展示で区民会議の取り組みを紹介とありますが、もしそれにプラスしていただけるようでしたら、それぞれの審議テーマに沿った取り組みの中で、行政から提供いただいた資料ですとかパンフレット等もあれば一緒に置いていただくと、ここで初めて、区民会議をきっかけに区政のほうに参加していただいた方に、いろいろな区の取り組みですとか市の取り組みなんかの情報があるということで、それぞれの場所に足を運ばなくても、1カ所で必要なものが手に入るという意味で、ちょっと有効に活用できるのではないかなと思いました。

川連委員長 ありがとうございます。では、橋本（貞）さん。

橋本（貞）委員 今までの皆さんの御意見と私も同感の部分がほとんどです。ただ、広報の仕方ですね。こういうふうな立派なものをいろいろ検討して中原市民館で発表するということですが、やはりそれを聞いてくださる区民の方が関心を持って来ていただける、その広報の仕方は、もう期限が決まっていますし、日にちも決まっていますから、チラシをつくるにしても、町会やいろいろなところに回すにしてもちょっと早目にするとか、今までの事業をした中で私はすごく反省にも感じます。きのうもやりましたことですが、盛大に終わったと喜んでいてではなくて、やはりそれまでの過程とかそういうことももっと次に向けて考えたらいいんじゃないかなと私は強く思いました。ここに出

ました案につきましては同感ですので、お手伝いさせていただきます。

以上です。

川連委員長 ありがとうございます。きのうも何か聞きましたけれども、きのうのふれあいカフェも前日にわかったという方が随分いらっしゃったみたいなので、あんなに町会で回覧を回してもらっているはずが前日にわかったという方が多かったですから、今、橋本（貞）さんがおっしゃったように、少し早くやったほうがいいですね。

橋本（貞）委員 そうですね。そういうような御意見は、現実にお叱りを受けました。きのうもお手伝いくださった方の中で、きのう聞いてきょうなんだと言って、すごく言われましたから、私のほうがびっくりしました。

川連委員長 わかりました。

お隣の橋本（満）さん、お願いします。

橋本（満）委員 内容はいいんですが、先ほど塚本委員からもありましたが、何分やるかという時間配分によってまた中身も変わってくるようなところもあるのかなと思うんです。区民会議報告というのは、やはり市民報告会としては目玉にしなければいけないのではないかなという気がするので、内容にもよるんですが、区民会議報告が30分というところちょっと短いのかなと。

それと、講演ですが、基調講演等をお願いする場合に、もう既に絞っておられればいいんですが、時間がないので、講師によって時間がとれないというところはあろうかと思えますので、この辺は早急にやらなければいけないのかなという点がちょっと心配なところでは。

以上です。

川連委員長 ありがとうございます。藤嶋さん、よろしくお願いします。

藤嶋委員 昨年なんですが、40周年も兼ねてやりましたところ、各団体からの人数は5名ぐらいずつという約束だったんですが、当日になりましたら、それを守っているところが余りなかったんですね。そして、せっかくの企画したものが、もう少し人数が欲しかったというような状態でした。そして、昨年だと、全部の団体が本当に5分とか3分とかで報告したので、皆さんが責任を感じていたんですね。そういうふうには、皆さんが責任を感じるような報告会とか、いろいろしなければいけないと思いますし、そして、講演を頼む場合にも30分というのは、頼むほうも、講演する人もちょっと短いんじゃないか、十分講演できないのではないかと思います。フロンターレでしたら、ファンのサポーターの人たちも来てくださるような何かそういうこともできますし、そういう人たちに区民会議を知っていただけるということもできるので、もうちょっと講演は長くして、そして、報告会も長くしたほうがいいのではないかなという気がいたしました。

この時期は行事がとてもしろいろと重なると思いますので、よほどみんなでこれを盛り立てていかなければいけないという意思を固くしていかないと、先ほどの橋本（貞）委員

からのように、時間がなくて見逃してしまったという人も多いと思うんですね。意外と回覧板は皆さん見ているので、それも早目にかけるようにしていただきたいと思います。きのうのチラシもとてもよかったです、掲示版に張る時間がなくて本当に残念だと思いました。

以上です。

川連委員長 ありがとうございます。

では、富岡さん、お願いします。

富岡副委員長 区民会議を幅広く知ってもらうための報告会でございますので、大勢の人にこの会場に来てもらうというのが1つだろうと思います。それで、広報はもちろん大事ですけれども、動員力がある人に講演をしていただくというのが1つの手ですね。ここにフロンターレと書いてあるのはとてもいいことだと思います。今、藤嶋さんがおっしゃられましたように、ファンの方が大勢参りますから、その点では動員力があるのかなと思います。

それから、ワークショップが「中原区のおすすめスポット」についてということですが、小中学生にどのようにして来てもらって、それで話し合いに乗ってもらうかというのが、ちょっと先のことで難しいかなと思いますけれども、中原区地域教育会議というのが市民館で行われておりまして、これは教育委員会主催でございますが、その中に子ども会議というのがあるんですね。子どもさんたちが本当に活発な意見をどんどん出して、すばらしい子ども会議をやっております

ですので、もし小中学校でちょっと難色ぞみだったら、市民館の教育委員会の中原区地域教育会議を通して小中学生に来てもらって、ここに出ておりますように、テーマが「中原区内のおすすめスポット・好きな場所」ということを前もって提示しておいて、考えてきていただいて、それで討論、意見を出してもらうのがいいかななんて私は思っております。このワークショップはとても魅力的です。私どもと違う子どもさんたちの目線の意見がたくさん出てくるんですね。我々には考えられないことがいっぱい出ますので、とてもいいことだと思っております。

あとは、報告会の30分が短いか長い、ちょっとやってみないとわからないんですが、余り長いと飽きてしまうかなと思ったりしておりますけれども、その辺は、リーダーの人たちが上手に楽しくお話ししていただければいいのかなと思っております。

以上でございます。ありがとうございます。

川連委員長 ありがとうございます。それでは、板倉さん、お願いします。

板倉副委員長 一番最後になってしまったので、皆さんの御意見はそのままそのとおりだと思っております。同じような意見を私も持っていますが、ただ気になるのが、3時間でまとめるという中で、この時間設定だと、黙っていても4時間ぐらいかかってしまうんじゃないかなと。この辺は少し整理をして、1つぐらい外して考えないと、進めるのが難しい

のかなと考えております。

川連委員長 ありがとうございます。

それでは、時間の都合もございますので、一応皆さんの意見はここまでとさせていただきます。今いただきましたいろんな意見をまた整理して、事務局とも相談したいと思っております。

平成25年度区民会議交流会報告書について

川連委員長 それでは、次の議題に移りたいと思います。

平成25年度区民会議交流会報告書について事務局から説明をお願いいたします。

事務局 それでは、お手元の資料、平成25年度区民会議交流会報告について御説明をいたします。

区民会議交流会でございますけれども、1月22日水曜日に中原区役所で開催されたところでございます。

2枚めくっていただきまして、2ページでございますけれども、開催概要がございます。1月22日水曜日、6時から8時10分まで中原区役所の5階で開催されました。参加人数、傍聴者数、内容等については記載のとおりでございます。

今回、抜粋版ということで、中原区の報告したパワーポイントについて資料を添付してございます。他区の資料については割愛させていただいております。

それから、62ページをごらんいただきたいんですが、7区の区民会議委員の意見交換の場を設けましたので、そのときに出た意見について記載がされてございます。それぞれまちづくり、市民参加の現状とか、次のページに行きますと、たくさんの市民がまちづくりに参加するための課題、たくさんの市民がまちづくりに参加するための意見やアイデアなど等、それぞれの課題、テーマについて意見交換をしていただきまして、その内容が記載されてございます。

次に、69ページから70ページにかけて市長の挨拶文が記載されてございます。

71ページから73ページまで、当日、市長と区民会議委員と意見交換もございましたので、そのやりとりが記載されているところでございます。

それから、79ページから84ページまで、当日、区民会議交流会で委員にアンケートをとりまして、その結果が載っております。

87ページ以降が次第、座席表、それから参加者名簿等となっております。

詳細については後ほど御参照いただければと思います。

説明は以上でございます。

川連委員長 ありがとうございます。

「開運なんでも鑑定団」の取り組みについて



川連委員長 それでは続いて、資料4「開運なんでも鑑定団」の取り組みについて、稲富委員より説明をお願いいたします。

稲富委員 きょう出していただいております資料4になりますけれども、これまでもいろんなところで「開運なんでも鑑定団」ということを私は言うてきまして、一応整理をさせていただいております。ここで、区民会議という中で、この枠組みを使っているような効果を出していきたいということもありまして、皆さんに、区民会議としてこれにかかわっていくことに賛同いただけるかどうかまず確認をとった以降、具体的に進めていきたいということで、今回資料を出させていただきます。

ここにありますように、「開運なんでも鑑定団」という番組がありまして、出張鑑定というのがございます。この出張鑑定のコーナーでは、まず地域の紹介が入って、そこで流れていくようなストーリーになっていまして、これは今まで誘致したいと思ってやっていたんですけれども、その地域性、地域紹介というところが入ってくるので、一団で誘致するというよりも、もっとよりよく持っていけたらなということはずっと考えておりました。今回、区民会議のほうでも最後に議論がありましたように、中原区の魅力発信、また世代間交流ということで、こういったテーマを考えると、この番組を持つことによって、その成果、効果が見込めるんじゃないかということと、また、これを踏まえて、区民会議というものをまずは区民の皆さんに——ある程度認知は、知られてはいると思うんですけれども、より一步踏み込んだ、興味を持っていただくようなところに、伝えるきっかけになればいいなと考えております。

中原区の魅力を深掘りするということになりますけれども、これはその番組を通して、中原街道があつて、御殿町があつて、こういった歴史のあるところをこのお宝という形を通して深掘りをする、また改めて、メディアを通して広く理解をいただいて、またそこに区民が品物を出したり、そこに一緒に入ってきたりということを進めることでの世代間交流、これは番組としても、いわゆる高齢の方から若い方まで非常に人気のある番組ですから、恐らくそういった交流が図れるきっかけにもなると思っております。実際には、「開運なんでも鑑定団」の出張鑑定というものを誘致することになるわけですが、先ほど言いましたように、この区民会議としてまずは御承認をいただいて進めるべきことだと思っておりますので、今回、審議をお願いしたいと思っております。

今、番組のほうにもう随分前に申し込んで、小杉という、人口がふえている、また、先ほど言った歴史もあるまちとして、魅力があるところに何で来ないんだと、うちの代表者が番組に送ったところ、ぜひ準備が整ったら行きたいというお話をいただいております。その上で、今も人口がふえております。先ほど冒頭のお話でも、地価も上がっていくといったように注目されているところでもありますから、恐らく番組としても来る価値があるというふうに見ていただいていると思っております。

その番組誘致に当たって必要なことというマニュアルというのがあるんですけれども、

その中に大きく書いてあります費用負担とか、幾つかのことというので、この2つが書いてありました。

1つは、依頼人です。まずそのお宝自身を見つけること、また、その撮影に当たっての当日の観客を募集するというのを費用を含めてやってくださいねと書いてあります。1つ目に、お宝を募集するという行為そのものにかかわる費用がかかるということ、また、恐らく「のど自慢」のようになると、申し込みを受けて、当選者を出してという労力と費用がかかってきますので、そういった部分も必要になるということです。あとは、実際に当日運営するに当たっての観客の受け付け整理、誘導はやってくださいねと言われております。

2つ目は会場費用なんですけれども、今、私どもで考えているのは、エポックなかはらか、とどろきアリーナか。どれぐらいの規模の観客を入れるかで、多分どちらでもいいのかなと思っています。そんなところのいわゆる借用費用、この辺についても出てくることになります。

いずれにしても、この条件もありますけれども、まずは番組として、ではその日にこれをやろうというふうにはまず内定をいただく必要があります。その内定を受けるときの必要なことは、これがどれだけ本当に具体的に実現性のあるものなのかということが多分はかれると思っておりまして、1つは、ちょっと後ろのほうに書いてしまったんですけども、数点番組で出すためには少なくとも100点以上の品物を用意してくださいと言われております。選考されるためにそういうふうになるということです。ですから、それを集められる力が本当にあるかどうかははかれる一番のポイントかと思います。あと、運営云々というのは、ある程度団体的にちゃんと保障を担保すれば理解をしていただけたらと思っていますので、そのときに出展とか、観客動員がちゃんと得られるかどうかのところをきちっとしていく必要があると思っておりまして、ここに中原区区民会議の名をお借りして、うまく発展させていきたいと思っております。

2項のところの書いてありますが、区民会議にご承認いただきたいことについてということで、区民会議という名のもとにこのお話を持っていくことをまずお許しいただけるかどうかということが1つ目です。2つ目は、番組誘致に必要な依頼人募集という行為をこの中原区区民会議の名を使って出ていくことがふさわしいかどうかを含めてお許しいただけるかということと、できれば、さっきの市民報告会とうまく重ねて、人の動員も含めた側面での広まりにつながるような形をとりたいと思っていることについて御理解をいただきたいということです。3つ目ですけれども、実際の本番は、内定をいただいてから進めて、恐らくことしの秋ごろになってしまいますから、この次の期の時期に入ってしまうんですけども、実際には次の区民会議の皆さんがどうかかわるか、進めていただくことはあると思うんですけども、そうやってまたがっていくということに対しても恐らく御理解をいただかなければいけないと思っておりまして、その他のことについては具体的

に区ともお話ししながら進めていくことになると思うんですけども、この3点についてきょうは御承認いただけないかということでお話をしたいと思っています。

一応、番組の誘致までの作業イメージを書いておりますが、先ほど何回か触れましたとおりです。ここでかかわってくるのが、ここでもし、これでやっていいよということになれば、まずこれで番組に話を持って行って内定をもらうということ。内定が出たら、3項の(2)ですけれども、実際にはいつごろ本番を実施するのか、会場の確保もありますので、その打ち合わせをするということです。3つ目に、先ほどの区民会議報告会の案内、できるだけ早く行ってほしいんですけども、そこの一角に「開運なんでも鑑定団」への出展、出品者の募集とか、あとは見に来る方の応募みたいなことをうまく絡ませて広報できれば、いわゆるチラシは一緒に載ってしまうので、費用も1回で済むかなというようなことも含めてできないかと思っています。

(4)、最後は、先ほど言いましたように、区民会議「市民報告会」と連動してできるだけ——このためにするようになるのでは本末転倒なんですけれども、ただ、区民が集まる効果はあると思いますから、こういう形でできないかなと思っています。

私から書いた内容については、以上で説明を終わります。

川連委員長 ありがとうございます。

今の稲富さんの説明に対して、御意見、御質問がございましたらよろしくお願ひいたします。遠慮しないで、どうぞ意見を言っていただきたいんです。

藤嶋さん、いかがでしょうか。

藤嶋委員 区民会議を知ってもらったり、そしてまた、区民に溶け込むということではとてもいいと思うんですが、今までこういう発案は余りなかったものですからちょっとびっくりしましたが、区民会議が幅広くというんだったらまたこれもおもしろいと思いますけれども、今までの系統だと、かたい系統で来ているものですからどうかなと思うんですが、もっとオープンに、幅広く、楽しくという趣旨でこれから行くんだったらいいんじゃないですか。

川連委員長 私もなるべく楽しくいきたいものですから、ありがとうございます。

橋本（満）さん。

橋本（満）委員 ちょっとわからないんですが、100点以上の品物というと、ふだん番組がやっているんですけども、PRするとぱっと集まるんですかね。何か番組を見てみますと、バラエティーに富んだいろんな種類のものが出てきていますね。都市部でもこういうものが可能かどうか、ちょっとその辺が。

稲富委員 多分いっぱい眠っていると思っています。少なくともここにいるメンバーが知人で1つぐらい持っていそうだなと顔が浮かべば、その段階でもう20点ぐらい集まりますので、恐らく何とかなるのではないかと。

川連委員長 ちょっと飛びますけれども、尾木さん、今ので何かございますか。

尾木委員 出られるならいいんじゃないですか。100点ぐらい集まりますよ。うちも二、三点出しますよ。せっかくの機会だから試してみる必要はあるんじゃないですか。区民会議というと、藤嶋先生がおっしゃるように何かかたいイメージで来ていますので、主催で「開運なんでも鑑定団」なんかに出れば、区民の皆さんも結構おっと思うんじゃないですか。そういう切り口も私は試してみる価値はあると思っております。それで、何回も言いますけれども、100点は集まりますよ。これだけのまちですから、大丈夫です。うちは100点もないけれども、1点や2点は必ずありますから大丈夫です。やってみたらどうですか。

中山委員 1点や2点、100点は集まるんでしょうけれども、1に、費用、費用、費用と3項目書いてありますね。そのお金はどこから出るんですか。

稲富委員 私たちは労働組合の団体なんですけれども、もともとうちの団体で呼ぼうとしていたんですね。ただ、確かに我々でやってやれないわけではないんですが、先ほど言ったように、地域性が番組として出るので、そこはうまく使うべきだと思っていて、なのでかかわっていきたい。

ですから、もともとそういうやる前提があって、その上で逆に区としてかかわってくるときに、あとは逆にある程度持たなければいけないみたいな事情がもしあれば——なので、それ以外のところは区とお話をさせていただいてということで、やることを前提にして、どこまでどういうふうにするかは今後詰めていきたいと私は思っていますので、恐らくここでオーケーになっても、その後でまた別の費用問題とかで出てくるかもしれません。

私が言えることは以上です。

中山委員 お金はわかりました。

人はどうですか、人集め等はやらなくていいんですか。

稲富委員 同じだと思っています。

中山委員 大丈夫ですか、やらなくていいんですね。区民会議としては人集めをするのにやらなくていいんですか。

稲富委員 どちらかというと、多分品物を集めるのと同時に、見に来たい人を集めて、その中から、当たった人に当たったよというふうにするやり方かなと思っています。

中山委員 品物はたくさん集まると思うんです。会場への人の集めです。

尾木委員 来ますよ。あれだけ全国的な番組ですから、「のど自慢」と比較できるような番組ですよ。むしろ抽せんになると思いますよ。

中山委員 では、区役所も区民会議の人たちも何もしなくていいわけですね。

尾木委員 だって、それはやっていただくということですから、基本的には労組さんで段取りはしてくれるという話でしょう。だから、いいんじゃないですか。

中山委員 だから、人の何とかで相撲をとると言いますけれども、それでいいんですか。

尾木委員 このメンバーで出ていったってだめでしょう。もうちょっとおもしろい人がい  
かないとだめですよ。だから、それは中山さん、大丈夫です。労組が全部お膳立てしてく  
れる。ただ、地域性があるから、区民会議がある程度それに乗っかるという形でどうです  
かと言っているわけだから、いいんじゃないですか、金も人も出してくれるんだから。

中山委員 頭が白くなると、そういう心配をするんですよ。

尾木委員 それは大丈夫だと思いますよ。

会長、向こうに座っている参与の先生方にも聞いてみてください。こういう問題はああ  
いう人たちのほうがなれているから。

大庭参与 どうも御苦労さまです。余りなれているわけではないんですけども、この議  
論になったら、皆さんが急に活発に御意見があったということで、何か象徴しているよう  
な気がするんですけども、労組のほうでいろいろ考えてお膳立てしていただきながら、  
この区民会議で皆さんで協力してやるということであればいいのではないかなと思います  
が、行政のかみ方がどうなっていくのかなというのはあるかと思えます。秋というとすぐ  
だと思うんですけども、また今度、5月17日の場もありますし、きょうはこういう提案  
が出されたので、いろんな機会で議論もされたらいいのではないかと思いました。

梅原委員 ちょっと一言あるんですけども、私と同期の人間で、世界中を自転車で回っ  
ている冒険家がいるんです。実は先週の日曜日に、その講演会をやるということで、川崎  
市国際交流センターで、国際交流民間団体協議会が主催でやりました。写真のパネルをつ  
くって、それを表示して、それから最後の日に、その写真展、どういうふうにして写真を  
撮ったか、あるいはどういうふうにして走ったかという講演を約2時間ぐらいやったんで  
す。地球市民講座ということでやったんですが、これはやる人はいいんですけども、設  
定したり、人を集めたり、ビラを配ったり、パネルをつくったり、それを取り巻くいろん  
な人間がたくさん必要なんです。

実は、私が主催したものですから、私の出た高校というのは北九州なんですけれども、  
進学校でしたから、高校の同期生が関東地区にたくさん来ているんです。それで、その同  
期の人間を集めまして、20人ぐらい集まりまして、その人間がそれぞれ役割を分担して、  
例えばパワーポイントをつくったり、いろんなことをやったわけですよ。それだけの人間が  
必要なんですね。区民会議ということで皆さん出てきていますけれども、みんなそれぞ  
れの団体の長をやっている方ですから、細かくやろうというのはまず難しいのでは  
ないかと私は思います。

例えば、そういう人集めとか、ビラをつくったり、集めたり、いろいろ連絡をとった  
り、会場を設定したり、費用を出したりするために必ずそれだけの人員が必要ですから、  
その辺の人員がきちり用意されていれば区民会議が乗っかってもいいのかなということ  
です。具体的に何かやれということでは実際には難しいんじゃないかと思えますが、その辺はい  
かがでしょうか。

稲富委員 当日の統制という意味でいくと、例えば、エポックなかはらなんかだと、見に来る人が決まっていれば恐らくそんなに人は要らないと思っています。具体的には、市民報告会のときに見に行きたいよと、逆に言うと、報告会に来た人は全員見に来られますと言ってもいいのではないかと思っていますんですけれども、例えば、それでその人は見に来られるというふうな、はがきなり何かを持ちます。それを当日持って、そこに入っている座席に座ってもらうというふうにするのであれば、エポックなかはらでいけば、動線を考えていただいても、多分20人もいれば十分な対応がとれる。番組そのものはテレビ局のほうがやってくれますから、いわゆる案内、運営云々はできるとしています。もっと極端な話でいくと、うちは富士通労組ですけれども、富士通労組だけでもできるかなと思っています。

仮にとどろきアリーナぐらい大きな会場になった場合でも、恐らく40人ぐらいいれば、中の案内も含めてできるイメージを持っているわけなんですけれども、そうすると、それは我々、中原地区連合の労働組合からそれぞれ10人ずつぐらい応援を出してくださいとやっしまえば50人、60人集まりますから、恐らく人海戦術という意味での課題は消えるのかなと思っています。

ですから、一番課題なのは、やっぱりそういったことをやる広報の一角、中原区区民会議の資料を使わせていただくこととか、あとは、そのやりとりのところで、当然、区の運営スタッフの皆さんにもお手をかけるところは出てきますから、そこが御了承いただければ大丈夫かなと思っています。もっと言うと、この報告会のときの受け付けの手だても、人も出してやるということも想定していますので、そういう意味では余り心配していません。

橋本（貞）委員 今のお話を伺ってしまして、一企業の労組と、そこに区民会議が人集めのためというか、広めるためにというのは、私はちょっとひっかかります。今までの行政の——もちろんかた過ぎるというのもありますけれども、そちらのほうに人集めも何もみんなお任せして、ただ区民会議がその中で応援していますみたいな、賛同していますという形では何か問題があるのかなという気もしますし、基本的に、我々区民会議委員は、ここで話し合ったことが、今回も自主防災とか、子育てとか、歴史で、全員一致で決まったわけですね。ですから、きのうでも、前回の自主防災でも、そういうような事業をやるときは、我々全部が、全員全力で応援して区民会議の事業としてやるという意識を持つということが基本的に当然だと私は思うんです。

ですから、全員が参加するというのは、それはいろいろお仕事を持っている方もいらっしやいますけれども、基本的には、やはり自分たちが声かけをすとか、そういう気持ちを持って、区民、委員がみずからやるという気持ちでやらないと、ただ終わらせてしまえば、事業を終えて予算も使ったでは区民会議としての発展はないような気がしますし、川崎市全部の労組がそれに乗れというんだったら別かもしれませんけれども、一企業の——

私はもちろんフロンターレも応援していますし、富士通もいいと思いますけれども、区民会議がその中に入ってというのは、まだすぐに決めるのは問題があるんじゃないかと思います。

稲富委員 一つだけ、ちょっと誤解を与えてしまったのかもしれないですが、区民会議でやる鑑定団の運営応援を労組の中原地区連合という一委員として協力しますよというイメージで言ったつもりなので、我々がやる上に乗っかってもらうのではなくて、イメージとしては、中原区区民会議を通してこれをやって、その運営スタッフとしては実際に労働組合が応援しますよと。「なかはら“ゆめ”区民祭」にステージ運営で労働組合はお手伝いさせていただいているので、それと同じようなイメージで捉えてもらえればいいのかと思います。

あと、できれば、可能であれば実行委員会形式をつくったほうがいいんじゃないかとか、そういうのがあればそれはそれで本当にいいことだと思いますので、決してそれを否定しているつもりはないです。

尾木委員 橋本（貞）委員の言われることもよくわかるんですけども、今、中原区の区民がみんなで盛り上げると、もちろんそのための会議なんでしょうけれども、企業もこの地域でいろいろ担っているわけですね。防災なんかのことも、今、企業の方たちが非常に一生懸命いろんなことでやっていただいているので、むしろ区民の一部として、企業の人たちも積極的に区政の中へ入っていただけて応援していただくということをやらないと、組織としてはなかなか難しいんですよ。おっしゃることはわかるけれども、今、一私企業としても社会貢献というのは常識ですから、だから、言葉はよくないんですけども、本当に企業の人たちに出てきていただいて、我々と一緒になって、防災にしても、地域のいろんなフェスティバルにしても、そういう企業の力を引き出すということを我々は考えないと、企業は企業、区民は区民というのではなくて、企業も含めた、区の中で生活している人、ここで勤務して働いている人、そういう人たちも含めて区民という考えでやらないとなかなか発展していかないだろうと思っているので、今までの話を伺っていると、今回、労組が中心になってやるというのではなくて、せつかくそこを企画して——ただ労組ではなくて、中原区区民会議という大きな枠の中で利用していただいても、私たちは、お金は別にしても、ある程度人は出せますよという話だろうと思うんです。だから、余りそこにこだわる必要はないのではないかなと思っています。

橋本（貞）委員 そういう部分では私もわかりますけれども、すぐに決めてどうのこうのというのではないんじゃないかなと思います。

尾木委員 決めるのではなくて、そういう案が出ているから、皆さんの意見を言えというから言っているだけの話で、そういう切り口もたまにはおもしろいんじゃないかということと言っているのです、やるやらないは、実行委員会か何かをつくってやられてもいいし、だけど、やっぱり何かそういう起爆剤がないと、ただ話をしただけでは我々の考えはなか

なか世間に広がっていかないですよ。

橋本（貞）委員 それはわかります。区民会議もこれで4期ですね。1期、2期、3期と、私も全部は出ていませんけれども、行っても本当におもしろくないんですね。何か長々と説明したりして、おもしろいとか、興味を持つようなことではないので、そういうような切り口をしていくのも必要なんですけれども、では我々が全然人を動員しなくていいのかとか、そういうことではなく、やはり一緒になって人を動員したり、アイデアを出したり、その中に加わっていかなければ、何かそちらに全部お任せでいいんです、うちのほうで人も集めますではないと思います。

尾木委員 橋本（貞）委員、ちょっと余計なことを言うかもしれないけれども、稲富委員はそう言ったんじゃないんですよ。今までの話の流れから、人のことを心配したから、もしあれだったら人は労組のほうでも動員をかけられますよということを言って、前面に自分たちが出てやりますよということを言っているのではないと思いますよ。それは労組が出しゃばってやるというような話に私は聞いていなかったんですけれども、そうでしょう。

稲富委員 そのとおりです。

尾木委員 やるやらないは皆さんの意見ですから、区民会議も余りかたいことばかりやっていないで、それぐらいのことはやったほうがいいんじゃないですか。

川連委員長 ありがとうございます。

この件は、区民会議のみんながそれぞれ出て一生懸命やればいいと思うんです。本当に今までかたいことばかりやっているの、私も、もうちょっと気楽にできるような区民会議になったらいいなと思います。私もきょう最後になりますので、本当にずっとそういうふうに思っていたんです。やっぱりみんな楽しく、もう少し気楽に。余りかたいことばかりやっていただけでは区民だって全然乗ってきませんよ。区民会議は何をやっているのかということになるので、区民会議の広報にも、今の稲富さんのお話はやっぱり役に立つと思いますので、稲富さんに話を進めていただき、具体的なかわり方については、区民会議と事務局とこれから話し合って決めていけばいいのではないかと思います。

そんなことでどうでしょうか、よろしいでしょうか。——ありがとうございます。

#### 4 その他

川連委員長 次に、その他として、事務局から何かございましたらお願いします。

事務局 それでは、2点ほど。先ほどからちょっとお話が出ております昨日の子育てふれあいカフェでございますけれども、区民会議の皆様方に御協力いただきましてありがとうございました。この場をおかりしまして、改めてお礼を申し上げます。

昨日のふれあいカフェでございますが、1時半から4時まで、ここの会場で行いました。3ヶ月健診を受診されるお子さん、親御さんたちを対象に行ったわけですが、



それ以外に、大きなお子さんを連れのお母さん方も多くいらして、ざっと見て、総勢で約100名弱ぐらいの方が来られ、大変盛況でございました。

先ほどちょっと御指摘もありましたけれども、広報等の部分で若干課題等もございましたので、そういう部分を反省材料にしまして、また機会があればこういう催しを行っていきたくと思いますので、その節はまた御協力をよろしくお願ひしたいと思います。

それともう1点でございますけれども、前回の区民会議で要望書が提出されました区の木でございますけれども、これにつきましては、先日の議会でも質問がございました。区の木の新定につきましては、来年度が市制90周年ということで、周年記念事業として、区役所が率先して進めてまいりたいと思います。進めるに当たりましては、やはり実行委員会等を形成して進めてまいりたいと思っておりますので、区民会議の委員さんからも、実行委員として御協力いただきたいと思っておりますので、またお声がけはさせていただきますので、その節はよろしくお願ひしたいと思います。

以上、2点でございます。

川連委員長 ありがとうございます。

それでは、議題ではないんですけれども、第4期の区民会議委員として、今回が最後の会議となります。多少時間もありますので、まだ任期は残っておりますけれども、各委員に一言ずつ、区民会議について振り返りの言葉をいただきたいと思っております。

それでは、青木委員からよろしくお願ひいたします。

青木委員 私も区民会議を2期、ちょうど4年間務めたことになりまして、本当にありがとうございました。

さっき鑑定団のことで手を挙げようと思ったんですけれども、区民会議の組織といいですか、ここがよくはっきりしないんですけれども、ライン的なものとスタッフとおるけれども、私は、区民会議というのはスタッフで、国会で言えば霞が関ではないかと。案は出すけれども実際はなかなかやらない。したがって、鑑定団のほうも区民会議がやるのではなくて、たまたまそういうアイデアを出したというだけでよいのではないかと思うんです。区民会議の名前でやるというのは問題があるのではないか。だから、区民会議はそういうライン的なこともやるんだと、組織をもうちょっとはっきりしないとね。私は、スタッフ的なことではないかと思う。いろいろ行政のほうに提案をすとか、そういう役割ではないかと思うんですけれども、そんなことで、4年間務めさせていただきまして、ありがとうございました。

川連委員長 石井さん、お願ひします。

石井委員 私は、町内会の連合会のほうから出たわけなんですけれども、前任の長瀬会長が途中で逝去されまして、その残任期間ということで私は出させていただきましたので、当初はどういうことの議論をするのかちょっとわからない面もありましたけれども、ようやく皆さんともおつき合いできました。

それで、次の機会ですけれども、やはり大勢の方に出ていただいたほうがいいのではないかなという気がしますので、次回は町連のほうからも、どなたか別の方に出ていただきたいなと思っております。どうもお世話になりました。ありがとうございました。

川連委員長 ありがとうございました。稲富さん。

稲富委員 私も期の途中で入ったので、5年、区民会議委員をやらせていただきました。ふだんお会いできないような皆さんとこうやって意見交換ができたことは私にとって本当に宝だと思っておりますし、今後もこの区民会議がまさに目的である区の活性化につながるような議論をしていただけることをぜひお願いもしたいと思っております。この5年間、私みたいな若輩者とおつき合いいただいて、感謝だけでございます。本当にありがとうございました。

川連委員長 ありがとうございました。梅原さん、お願いします。

梅原委員 私は、ボーイスカウト、ガールスカウトの中原区のみとめをやっております。それから、自分のところでボーイスカウトの団を持っております。一応、子育てふれあいというのがいろいろありますけれども、状況を見ますと、大体赤ちゃんから3歳児までが中心になっていて、小学校高学年から中学生、高校生、大学生と、こういう大きい子どもの子育てというのは余りやられていないような感じがちょっとしていたんです。子どもたちといろいろ触れ合いますと、言うことが最近何かおかしいなということで、ちゃんと教育できていないんじゃないかという感じがしていました。

実は、区民会議というのは余り存じ上げていなくて、そういうことがあるのでどうかと言われて参加させていただいたんですけれども、非常に勉強になりました。これからもよろしく願いいたします。

川連委員長 ありがとうございました。岡本さん、お願いします。

岡本委員 私も2期、区民会議委員を務めさせていただきました。最初は、何か全然わからないところへ飛び込んでまいりまして、皆さんに助けられて4年間務めさせていただくことができました。

私たちは、食生活改善推進ということで、食は大切だということを少しでも区民会議の皆さんから地域へ発信していただければ私の役目ができるのかなと思ってまいりました。昨日も子育てふれあいカフェに私たちを起用していただきまして、現代の親御さんたちは、子どもさんにおやつといえば市販かなというような感じで受けとめている中、こんなものでもおやつになるんだよという発信をさせていただきました。食ということは生きるために一番大切な源なので、これからも皆さんから、何かのついでというようなところで皆さんに発信していただければ、また、私たちを活用していただければいいかなと思っております。本当にいろいろなことを勉強させていただきまして、ありがとうございました。

川連委員長 ありがとうございました。尾木さん、お願いします。

尾木委員 私は、自主防災の代表ということでこの会議に加わっておりますけれども、その観点から言うと、出身母体のお役に余り立てなかったかなと今反省しているんですが、防災のほうもなかなか難しい問題がいっぱいありまして、区民会議で本当にやられたらそれだけで4年ぐらいかかってしまうんじゃないかと思うんです。それも無理からぬことかなと思っておりますけれども、2年間、いろんなすばらしい方たちの御意見を拝聴できまして大変参考になりました。ありがとうございました。

川連委員長 ありがとうございました。

但野委員 中原区PTA協議会のほうから団体推薦で参りました但野です。

2年間大変お世話になりました。こちらの場に参加することによって、また、区政のほうにも、さまざまな立場の方々がいろいろな働きかけをなさっているんだなということで大変勉強になりました。また、参加されている方がさまざまな御職業だったり、立場だったりということで、それぞれのお話を伺うことができ、参加させていただいて本当によかったと思っております。ありがとうございました。

先ほど梅原委員からもちょっとお話が出ていましたけれども、きのう子育てふれあいカフェに参加させていただいて、若いお母さんたちにとってサポートはすごく大事ななど、楽しく参加させていただきました。その中で、その子たちが育って行って、今、それぞれの小学校——新しい小学校が中原区にもできますけれども、本当に中原区は子どもたちがふえている地域だと思います。小学生、中学生、高校生。小学生のうち、ボールで公園でちょっと叱られるぐらいで済んでいるんですが、やっぱり集団で遊ぶことが大切な中高生になりますと、公園なんかで集まっただけで通報されたりということも実際にあるんですね。先ほど区長さんからもお話がありましたけれども、子どもたちの成長にとって思いっきり遊べる場所がすごく大切であったりとか、集まれる場所が大切であったりとか、成長の段階によっていろいろなところが必要になってくるということをPTAを通じて強く感じております。

そういった子どもたちも住みやすい環境に中原区になるといいなということをお願いしまして、次の方に引き継ぎたいと思っております。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

川連委員長 ありがとうございました。塚本さん、お願いします。

塚本委員 私もあっという間の2年間で、私は公募という立場ですけれども、中原区の中で開発が進んでいる地域の住民として参加させていただいていると思うんですけれども、この2年間にもマンションがふえ、商業施設ができという激変の2年間でありました。

よく中原区の中の最重要課題として新旧住民というような言葉が出てきますけれども、私はなかなか力不足で、新旧住民の交流を担えたかどうかというところとまだ全然これからというところがございますが、本当に灯台もと暗しで、武蔵小杉に住んでも、中原区のいいところとか、よくも悪くも足元が余り見えていない住民が多いので、でもこの2年でマンシ

ョン同士の横のつながりができて、一緒にやっついこうみたいな機運ができて、少し視野が広がって、では地域と一緒にやっていきたいねという意識がようやくできてきた段階です。これからも皆様方、先輩方にいろいろ御指導いただきながら、地域の一体感を持てるように、今後につなげていけたらと思っています。ありがとうございました。

川連委員長 ありがとうございました。寺岡さん、お願いします。

寺岡委員 私は、公募で2期4年務めさせていただきました。中原には40年以上住んでいまして、ずっと会社人間でできましたので、中原のことはほとんどわからないというか、関心がなくて過ごしてきましたけれども、この区民会議に公募で出て初めて、グループ会、いろんなものがあって、皆さんがよく活躍していらっしゃるのを見て驚きました。これからは何とか地域に貢献できればと思っておりますので、またいろんな面で御協力を賜わることはいかと思えますけれども、4年間どうもありがとうございました。

川連委員長 ありがとうございました。中山さん、お願いします。

中山委員 私の言うことがテーマに合っているかどうかちょっとわからないんですけども、1つは、稲富委員の提案に対していろいろな意見が大分たくさん出ました。これが本当の会議かなとちょっと思ったんです。こういう姿がいいかなと思いました。

2点目、委員長のほうから、この前のときに、それでよろしいでしょうかというお声がかかったんです。それがどっちかなと。僕の理解力がなくて、どっちかなということがちょっとわからなかった。それだけです。

以上です。

川連委員長 ありがとうございました。

成田委員 このたび子育てネットワークのほうから、子育てという分野で依頼を受けて2年間御一緒させていただきました。子育ての分野というのは、きのうのふれあいカフェもそうですが、1つイベントを立ち上げると瞬く間に親御さんが集まるというくらい、中原区というのは子どもに関しての問題は本当に切っても切れないなというのを実感しましたのと、もう1つは、そういった声かけですぐに集まってくれる親御さん方が、きのうのふれあいカフェの中で、主催が区民会議だということをどれだけお持ち帰りになっていたかかなというところがあります。さらに、もし持ち帰られた親御さんがいらっしゃるとすれば、その背景にいらっしゃる昼間に勤めているお父さん方まで浸透する確率はどこまであったかなというのがちょっと考えているところです。

きょうはお休みですが、たまたまきのう反町委員とインユニティの話をしまして、今は乳幼児さんが主体の子育て支援ということになっていますが、やっぱりこれからは、青少年、若者がどれだけ自分の可能性ですとか、自分の夢をこの中原区内から発信して行って、広く広げていかれるような環境をつくれるかどうかというのが今後非常に課題になってくると思います。

そういうこれからの視野を頭に入れて、また新しい皆様も加わって会議を活性化してい

っていただけたら本当にありがたいかと思えます。先ほどの稲富委員の御提案どおり、ちょっと意外性のあるいろいろな活動も視野に入れて、それにはやはり器を変えられるような新しい発想を持った方も入れていただきたいし、また、そういった方が集まりやすいような会議の開催時間ですとか、いろいろな集まり方の工夫なんかをこれからも取り入れていただければ幸いかと思えます。若輩者で、マイクが回ってくるたびに緊張の2年間でしたけれども、本当にありがとうございました。

川連委員長 ありがとうございました。橋本（貞）さん、お願いします。

橋本（貞）委員 私も今期初めて参加しまして、一応、区長推薦になっていますけれども、区長には、お耳の痛い、本当に辛辣なことも意見として言いましたので、おわびいたします。ごめんなさい。

でも、やはり地域の協力や賛同がなければまちづくりはできないという自分の信念は私には変わっていません。ですから、そういう部分で協力していきたいという気持ちはあります。ですから、ぜひ行政の方もそういうようなお気持ちをずっと持って——皆さん、2年や3年で大体かわっちゃうものですから、なかなかうまく引き継がれなく、また新規になるという部分が多いんですけれども、そういうところをもう少しね。それこそ、行政のほうももう少しやわらかくなっていただければ、区民ももっと懐の中に飛び込んでくるんじゃないかなという感じがします。2年間お世話になりました。ありがとうございました。

川連委員長 ありがとうございました。橋本（満）さん、お願いします。

橋本（満）委員 改めて名簿を見ましたら、私は、自然・生活環境の団体推薦ということで選出されておりました。それぞれのテーマに対して、私は、一区民として、団体とかそういうものを全く忘れて2年間過ごしてしまいました。今、その点を反省しているところですが、やはり区民目線で多くの意見を集約しながら、一步一步中原区をよくしていくということが大事だと思えますので、これからも残った方、よろしくお願ひしたいと思えます。

川連委員長 ありがとうございました。藤嶋さん、お願いします。

藤嶋委員 私は文化協会の代表で来ておりまして、今回で終わりますが、区民のための区民会議ということで、全てそれを一番のモットーにさせていただきたいと思えます。きのうの会を見ていましたら、本当に皆さん生き生きとして、お手伝いする私たちも本当に楽しかったです。そして、何でも楽しく笑顔で、陽気にオープンにということで、私は、「開運なんでも鑑定団」はとても楽しみにしております。やはりマスコミのそういうのを利用するのもいいんじゃないかなと思えます。

以上です。

川連委員長 ありがとうございました。富岡さん、お願いします。

富岡副委員長 皆さん、2年間大変お世話になりました、どうもありがとうございました。皆さんのいろいろな御意見をたくさん聞きまして、本当にいい勉強ができたと思って

おります。それで、きのうありました子育てふれあいカフェ、あそこで親子が本当に楽しく遊んでいるのを見まして、よかったなと思っております。

私どもは、民生委員児童委員協議会というところから出てきておるんですが、子育てサロンというのを展開しておるんです。中原区で、いろいろありますけれども、16から20ぐらいのところでは子育てサロンをやっております。これは、中原区で予算を出していただいて、それで社会福祉協議会が一応主催という形で展開しておるわけで、よその区を見ますと、その予算というのがなかなか出ていないんですね。中原区は大分前から予算立てたしまして展開しておりますので、活発に子育てサロンというのをやっております。

そういった関係で、子育て支援全体に関しての中原区の予算は膨大な金額が予算化されておると思いますが、そういった点で、中原区はこれからどんどん子どもがふえていくというところに、区としてそういった先見の明がありまして、子育て支援を重点的にやっていこうというようなところでやっております。私どもも子育てサロンをやっておりますが、どんどん参加者がふえてまいりまして会場がいっぱいになってしまったというような現状でございます。まだまだ足りないのではないかなと思っておりますが、子育て支援は本当に大切なことだと思っております。

そして、この区民会議のテーマは、防災と子育て、それから中原区の魅力についてということでテーマが細かく決められておりまして、第1の検討テーマが「絆を深めて支え合う防災体制づくり」ということです。これも本当に大事なことで、先ほどお話しになりましたように奥が深い話で、なかなか一朝一夕にはでき上がらないかなと思っております。それから2番目の「子育て家庭と地域をつなぐ人と場づくり」というんですが、これも場づくりというのがなかなか先に進んでいかないというところがございます。どこかにいい場所がないかなと思うんです。町内会館等々ありますが、会場費を取られるんですね。そうすると、我々の少ない予算ではなかなか難しいというところもございます。それから3番目の「中原区の魅力の効果的な発信と魅力を活用した地域住民の交流～今ある中原区の魅力を伝えよう～」も将来的にすばらしい内容のことで、これからワークショップをしていただいて、どんどん魅力発見をしていただければいいかなと思っております。私も多分これで終わりかと思っておりますので、来られた方々には一生懸命お願いしたいと思っております。

以上でございます。

川連委員長 ありがとうございます。それでは、板倉さん、お願いします。

板倉副委員長 この会議のスタート時点では、再開発という問題で、非常に短い時間にどんどん変わっていく。そういう中で、地域内外の全ての関係、例えば、新旧住民の交流とか、世代間の交流とか、区内の地域の交流とか、そういうところのコミュニケーションの再構築というのが必要なのかなと、初めはそういうつもりでスタートしたんですが、会議がだんだん進みますと、やはり子育て世代の問題、それから地域によっては加速する

高齢化の問題、そういういろいろな問題があるということがわかってきました。しかし、多分そういうところには今までなかった数多くの新しい問題が発生しているのではないかなと思うんですが、その辺のところを全然理解できなかったというか、私自身が集められなかったというか、把握できない、この辺にちょっともどかしさを感じたまま来てしまいました。先ほどの若い人が住みやすいという話なんです、住み続けたいとか、魅力あるまちづくりというのも、これから次のテーマになっていくんじゃないかと考えております。何かと皆様の御協力で何とか副議長を務めさせていただきまして、まことにありがとうございました。

川連委員長 最後に、私から一言。

私もこの6月でちょうど6年になりますけれども、最初に入ったときは、まず新丸子駅周辺の放置自転車から入りまして、それから防災訓練の見学だとか、子育てサロンの見学だとか、それから、なかはらの歌というのを私は知らなかったんですけども、こんなにいい歌があるのかということで企画課のほうに問い合わせしましたら、CDがあるよということで、私はそのCDをもらってきまして、あっちこちにそれを配って歩いて、中原区はこんなにいい歌を何で広報しないのかなと思って、それも一生懸命やらせてもらいました。

本当に6年間、私は委員長になって2年ですけども、大役過ぎてしまう役なんです。おかげさまで、委員の方がみんな私を支えてくださったので、何とかやってまいりました。本当にありがとうございました。御礼申し上げます。

それでは最後に、事務局から何かございましたらお願いします。

事務局 今期の委員の方々の任期及び来期の区民会議についてでございますけれども、今期の委員の方々につきましては6月30日までの任期となります。第5期の区民会議につきましては、任期は7月1日からの2年間となります。公募委員につきましては、4月1日号の市政だより区版、ホームページ等で募集の広報をさせていただきます。4期の委員の皆様につきましては、2年間、御協力本当にありがとうございました。

以上でございます。

川連委員長 ありがとうございました。

では、以上で、本日予定しておりました議事は全て終了いたしました。

ほかに皆さんから何か意見がありましたら、どうぞ。——では、今まで区民会議の参与の皆さんにも本当にお世話になってきましたけれども、きょうも一言ずついただきたいと思っております。本日の議論を聞いていただいて、お気づきの点などがございましたら御助言をお願いしたいと思います。

押本参与 本日もお疲れさまでございました。冒頭、区長よりもありましたけれども、ようやくこうやってジャンパーがそろったということで、皆さん、おそろいの服装をこうして着ている姿を拝見しますと、第4期の区民会議のメンバーが、川連委員長を中心に、一

致団結して検討テーマに当たってきたんだなと改めて思いました。また、残りの任期が6月30日までということで少ない中で、5月17日の市民報告会に向けて、報告書の作成、また準備等々、先ほど出されました課題を解決しながらすばらしい会が開催されますことを祈念申し上げますし、当日を楽しみにしてまいります。

また、先ほどのイベントの件でありますけれども、まずは行政とこの区民会議、そして、今回提案いただいたイベントの位置づけを事務方も含めて整理をしていただきたい、そこからなのかなと思います。そして、幸いにも、公共放送でもありましたけれども、先ほど尾木委員からもありましたけれども、「のど自慢」の経験もありますから、このイベントと開催した各自治体、いろいろあると思いますので、そういったかかわりなども参考に研究をいただきたいと思います。

以上でございます。この2年間、本当にお疲れさまでございました。

松川参与 第4期の最終ということでございまして、2年間本当にお疲れさまでございました。また、川連委員におきましては、6年間という長期にわたる御活躍でございまして、本当に尊敬の念を表したいと思っております。

大変遅参をいたしまして申しわけなかったところなんですけれども、きょうの中で、区民会議は大変かたいことばかりが多過ぎるというような言葉がちょっと出てまいりました。実を申しますと、僕自身は、地域の問題というのは地域で解決していこうではないかということで、市域内分権というようなことも考えながらこの区民会議というものを取り扱わせていただいておりますけれども、今の現状の区民会議条例というものは、問題を解決するというよりは、区長の諮問機関という立場での位置づけというのが大きいように思います。ということはどういうことかということ、区民会議で全てを決めて、何かの事業をつくってそれを行っていく、そういうようなところにはまだ行っていないというのが実情であると思います。

しかしながら、いずれそういう時代に入ってくると思いますし、皆さんが大変に御多忙の中での1回1回の会議というのはその礎になっていくと私は確信いたしているところでございます。それに向けまして、かたいことばかりということでございますので、それを変えるためには区民会議条例の改正をしていかななくてはいけないというところがございますので、その辺も研究をさせていただきながら、もっともっとやわらかい、意見が出るような、自由闊達な会議になるようなことを議会もしくは議員としてやっていければなと思っております。

イベントのことにしましては、本当にそれこそ皆さんでもんで決めていけばいいなと思っておりますし、僕も実を言うと、鑑定団が大好きでございまして、夜の番組はなかなか見られないんですけれども、日曜日の再放送はちょこちょこ見られる機会がございまして、移動しながら見たりとかしているわけであります。

そういうことを考えますと、テレビ東京でありますと、昨年度、「サザエさん」の裏番



組で「モヤモヤさまぁ〜ず」という番組がありますけれども、そこでちょうど武蔵小杉が取り上げられておりました。吉祥寺と自由が丘に続く、それを脅かすような人気の町、武蔵小杉という文句がございまして、大変に注目をされているところでございますので、テレビ東京自体もこの小杉で何かやりたいと多分思っていると思いますので、皆さんで前向きに御議論いただければと思っております。

またいろいろな皆さんの御意見を参考にしながら活動させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。2年間本当にお疲れさまでございました。

松原参与 参与の松原でございます。任期をお務めいただきまして大変ありがとうございます。

私たち市議会議員も来年はいよいよ選挙だということで、任期満了ということで、今はそわそわしている時期でありますけれども、選挙という洗礼を受けないで、それぞれ公募、あるいは推薦ということで選ばれてきた皆様でございまして、それぞれのお立場、団体等の中での御意見を聞かせていただきまして、大変参考になりまして、ありがとうございます。

自治基本条例というのを阿部市長がおつくりになりまして、その中で区民会議という位置づけができたわけでございます。そしてまた、区民会議の目的は何であったかということ、今お話がありましたけれども、区の課題を発見して、どういうふうに解決していくかということについて話し合っていたきたいというのが大義でありました。これが区民会議をつくる目的でありました。その中で、今問題になってきたのは、区民会議が市民の皆様になかなか周知できていない、そういうお話が出てきました。これは長年やっていればそういう課題が必ず出てくるので、そういう課題ができたときに、ではそれをどういうふうに解決していこうかと話し合うというのが大事であります。その1つの解決手段の方法として、「開運なんでも鑑定団」という御提案がありました。ただ、問題を提起するに当たっては、最初のボタンをかけ違えてしまいますと、なかなか意見がまとまらないということでございますので、まず最初のボタンをかけ違えないようにしなければいけないのかなと思います。提案としては提案としてまず受けとめなければいけないのかなと思います。

私は今、議会の中で議会運営委員長という職を務めさせていただいております。これは、議会を開催するに当たって、各会派はどういうふうな取り組みをするのかということをもとめるわけでありまして、本会議は賛成多数で全部決まります。しかし、議会運営委員会というのは全会一致でなければ議会が進まないということになっております。ですから、先ほどの鑑定団についても、賛成多数ではなくて、全員の方が全会一致ということでまとまっていたら進めていかないと、意見がなかなかまとまっていけないのかなという思いもしております。

それと、これは過去にも川崎でやった記憶があるので、そのときはどういう手順、スケ

ジュールでやってきたのかということも一つ勉強しなければいけない。これは尻尾がことしの秋ということになっておりますが、歌、NHKの「のど自慢」をやるのについても1年以上、準備期間をかけてようやくできたということで、尻尾が決まってしまっているということで、これも2014年の秋ということではなくて、それをやるにはやっぱりもう少し、半年以上、1年ぐらいかけてゆっくり御協議をいただくということも大変必要なのかと思います。

それと、中原区の魅力をとということでありますけれども、鑑定団を見ていると、その地区だけではなくて、近隣の市とかいろんなところからも応募が来るわけですよ。ですから、中原区に限っていいのか、あるいはまた川崎市全域に広げるのか。これは番組のディレクター等々の意向もあるし、番組のつくり方もあろうかと思imasるので、中原区だけでやろうということが道なのか、そうではなくて、もう少しほかの区も含めて川崎市全体でやるべきなのかということもやっぱり協議していかなければいけないのかなと思います。私は、進める以上は、全員の賛同、全会一致をもって進めていただきたいということをお願いさせていただきます。

以上です。

大庭参与 皆さん、2年間本当にお疲れさまでございました。

先ほど委員の方々から、この区民会議のあり方についても、やっぱり地域の賛同を得なければまちづくりはないというお言葉ですとか、区民のための区民会議、そういう思いで皆さん参加されてこられたのではないかなと思います。きょう起爆剤的な提案、びっくりするような提案がありましたけれども、やっぱり区民会議がそこで突っ走るというか、ここだけが突っ走るということにはならないように。人口が24万という大勢の中原区民の思いを酌み尽くすというのは本当に大変なことだと思いますし、先ほども出ましたけれども、多くの皆さんの本当の思いというのは、いろいろ議論してくると、やっぱり子育てや高齢化社会の問題はどうなのか、そこに何か尽くされていくようなことも出てくるのではないか、本当に住みやすいまちというのはどうなのか、そういうところの原点なんかも常に持ち合わせて、皆さんと一緒に考えていける区民会議であつたらいいなと思っております。

まだ5月17日に集大成の場があると思うので、皆さんが議論を尽くされて、活躍されてきましたので、またこれからもいい活動をされますように。本当に御苦労さまでした。ありがとうございました。

## 5 閉会

川連委員長 どうもありがとうございました。

皆様に御協力をいただきまして円滑な議事を進めることができましたこと、副委員長とともども深く感謝を申し上げ、これで第4期最後となります第8回中原区区民会議を閉会さ

させていただきます。

本当にありがとうございました。

午後 4 時 4 分 閉 会